

新婚早々に亡くなった夫との間に残された一粒種の娘を女で一つで育て上げ、その娘を新郎の許に送り出す母親の心境と親子二人で必死に生きてきた母子の半生記です。  
娘の嫁入り支度も全て済ませいよいよ明日娘も嫁ぎます。

そんな娘の晴れの日を待つ前夜、

細々と営んできた大阪の北の新地で店の暖簾を女は今日も下ろしつつふっと夜空を眺めます。

見上げる星空には零れ落ちそうな大小の星が散りばめられています。

無数の星の中の一つに亡きご亭主の影を求めふっと囁き掛けます。

二十数年もの間、日々の暮らしの成り行きを女の心内ではいつも亡き夫に語りかけてきた言葉が思わず口に出ます。そして女の胸にはさまざまな思いが駆け巡ります。

愛しい大黒柱を失い、路頭に迷いそうになりながら、乳飲み子を抱えて、折れそうな自分の心を叱り、歯を喰いしばりながら頑張って生きてきた当時の映像が心のスクリーンに甦ります。

そんなイメージを持って さあ！歌い出してみましよう！

～所帯を持ったその年に～ 出だしの2小節は言葉をたたみかける感じですが。

このフレーズに入る前に曲全体のトーンですがこの歌は長調で書かれた曲です。

基本的には全体に明るい曲調で歌って頂ければと思います。

そして前半の2行は語り口調で！それでは行って見ましよう。

出だしから16分音符で細かく音を刻んで曲は書いてあります。

何の感情も入れない感じです。～所帯をんっ～持った～んっ～その年に～、、、ここで言う～んっ～は 16分音符の休符です。勿論この箇所は休符ですから言葉や音には出しませんそんな気持ちでと言うことです。

そして歌いだしの所帯の「しょ」、持ったの「も」、は特に言葉を立てて！

～その年に～ この「そ」も同じです。

その次の行の～連れ合い～ 亡くし～ も全く同じ感じで言葉の入りと休符を大事に！

次の～はや二昔～ここからこれまでのノリと少し変わってきます。

二十年近くという過ぎ去った実際の時間を感じさせる様に。

～はや～の入りをたっぷりと特に「や」を後に少し遅らせる感じで！

出来れば「は」と「や」の間にゴシを回す位でも！

～二昔～ は思い入れをたっぷり！リズムのノリを横に揺らす感じで！

～明日～、～娘が～ ここは晴れ晴れとした思いを持って！たっぷり大きく歌います。

立派な大人に成長した娘の晴れ姿を皆さんどうぞ見てやって下さい。

明日の祝宴の席で、出席者全員の祝福の拍手を浴びながら幸せの絶頂にいるわが子の姿を想像して下さい。

そして～嫁ぎます～。ここは亡き夫に優しくさきやき掛ける感じです。

貴方が居てくれたらなあ… そんな思いを強く持って！

～ます～はたっぷり！と声と拍数を伸ばします。ここにその思いを滲ませます。

サビの～見せて～の入りはアフタクト（弱起）と音楽用語で言いますが、小節の途中で歌いだします。

サビに入る小節の4拍目の裏からから入りますからその前の～す～をその小節一杯伸ばして、

サビに入る小節では1拍目から伴奏のリズムカウントを良く聴きます。

出来れば4拍を倍のカウントで数えます。八分音符が八つ並んでいると考えて、

その八拍目の裏が～見せて～の入りのタイミングになります。

～見せてあげたい～ このサビの入りは勿論この歌の中で一番盛り上げたい箇所ですから

メロディラインも上に向かって行きます。従って声の量も一番必要とする所です。

プレス（息継ぎ）を深くしてお腹にたっぷり空気を送り込んで2小節を歌い切ります。

最後の音の長さまでしっかり声を伸ばして今度は素早くプレスをします。

そしてもう一度～見せてあげたい～と同じ言葉でメロディラインは下に向かいます。

次の～ねえあなた～までワンプレスで行きましよう。

ここのポイントは最初の～見せてあげたい～に入る前のプレスは深く！2回目は素早く！

と言う点に良く留意して。

歌い方は下降メロディの場合は基本的に声で訴えるよりも、言葉や感情を大事にして頂きたいですね。

当然、同じ歌詞の繰り返しの時は表現方法を変えましよう。

最初の上昇メロは情熱で！下降メロは情緒で！と言う風に！

バリエーションを変える事が大事です。

そして～ねえあなた～ ここはこの歌の中で一番女性の気持ちが盛り上がる所です。

イメージとしては、大宇宙の星になった亡き夫が自分の傍に降りて来て呉れて今、自分の目の前に居る。

亡き夫との出会いの時や、楽しかった二人の語らいの日々が思い起こされます。

傍に居る夫にそっと囁くように語り掛けます。

そしてふっと我に返り、一歩気持ちを現実に戻して、大阪にこんな女が頑張って生きてるのよ！

女の半生を、娘と二人全力で生き切ったある種のしたたかな女としての自信めいた気持ちを滲ませて！

少々の事には負けへんで！・・・そんな気持ちで～浪花ことぶき～を歌います。

～な～あ～にい～わあ～ことぶき～ここはゴシもたっぷりまわしちよっと横に揺らす感じです。

先程出てきた～二昔～の感じで！ただ～ことぶき～は少し寂しさを表現に盛り込んで行けば

次の収めのフレーズ～一人で祝う～に繋がります。

又一人になるわね！その揺れる感情を大きく歌い上げて下さい。

例えば嬉しさと満足感と寂しさと様々な気分を声と言葉に練り込んで下さい。

